

庁舎建設 新建

いつ決まる新庁舎建設位置

3月議会までには決定を／町長



やまもと ひさお 議員
山本 久夫

問 6月議会において、遅くとも12月議会までには、庁舎の建設に関する検討委員会から答申を受けるとの答弁であったが、未だ答申を受けていないのはなぜか。

6月議会の答弁を踏まえ検討委員会に答申の要請をしたのか。あまりにも議会での答弁が軽く、責任を持った対応とは思えない。

庁舎の位置については、白紙の状態で選考のための条件や項目もなく自由に建設場所を検討してもらう方向で委員会が開催されてきた。町としてもある程度の候補地を挙げ

てきたが、結局は候補地として3カ所が検討委員会の意見として現在あがっている。

今までの議会において町長は検討委員会の意見を尊重するとの発言を繰返してきたが、この結果に対してなぜ尊重しないような対応をするのか。

町としての新庁舎位置について計画もないため、行政手法としての検討委員会を設置したものであると考える。

検討委員会の委員は、地域審議会の代表や区長代表、各種団体の代表そして有識者などで構成し、町長自らが委員を委嘱したものではないか。

その検討委員会の結果に納得できないからといって、いまだに結論を出せないのは、委員会をあまりにも軽く扱いつづけている。また検討委員会からの答申を町民に示し意見を聞くのであれば始めからアンケートを取ればいい。一方で

は国道改良を繰返し国交省に要望し用地の取得に入っている時に、町が決定しなくては

ならないものは先送りを繰返し、何を考えているか理解できない対応である。

自らが判断する事ができないから、人に頼んで決めてもらったものを都合が悪いから納得できないと言つて決定できないのなら人に聞く事は無い。検討委員会の答申は尊重すると言いつつながら、検討委員会は何のためにあるのか値打ちのないものに町長自らがしている。

6月に聞くと12月に決定すると言いつつ、12月に聞けば1月と言いつつ。いつたい、いつになったら決まるのか。

町長に再度聞くが、本当に検討委員会の答申は尊重するのか、また、答申は遅くとも3月議会までに受け、間違いなく報告及び新庁舎の位置を決定するのか曖昧な答弁でなくはつきりとした答弁を聞きたい。

答

下村町長

庁舎移転建設について11月に開催された検討委員会で、3カ所の候補地が選定され、現在意見書がまとめられている。

12月に答申を受けたいと言いつつきたが、最終的には、1月の答申になる。庁舎の場所については、利便性、周辺環境への影響、安全性など常識的な場所の選定があるが、今回は委員それぞれが、良いと思う場所を選ぶという形で選定した。

検討委員会の結果については、当然ながら尊重していく。また、現在3カ所が選ばれているが、その順位についても当然尊重する。いずれにしても1月には正式な答申を受け、それ以後に決定をしなければならぬ。事の内容を考えると3月議会までには決定した



急がれる移転先